

事業番号	46	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な学習の支援	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	興味のある講座を開催することにより、市民が活動始めるきっかけになることを意図しています。 また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。今年度は旧街道探訪講座2講座、パソコン講座2講座、俳句講座1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の18歳以上の方(ただし、一定期日までに募集定員に満たなければ市外の方も可)					うち	一般財源	1,186	1,143	500	533	167
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動始めるきっかけになることを意図しています。						国費・県費	0	0	0	0	0
							地方債	0	0	0	0	0
					その他		0	0	0	0	0	
						受益者負担額	459	675	432	368	69	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 旧街道探訪講座	市内在住、 在勤、在学 の方	●		●		各30人定員 に対し、前期33人、後 期34人が受講した。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	97	111	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	144	144	講師料114,000円	A	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の 求める生涯学習講座のニーズに合っ ている。ただし、講師高齢のため事業実 施は難しく、次年度は休止する。
② パソコン講座	市内在住、 在勤、在学 の方	→		→		各20人定員 に対し、前期20人、後 期14人が受講した。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100	85	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	225	127	講師料161,600円	A	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の 求める生涯学習講座のニーズに合っ ているため、現行どおり実施していく。
③ 外国語を学ぶ『韓国 語』	市内在住、 在勤、在学 の方		●		●	各30人定員 に対し、前期10人、後 期23人が受講した。	募集人数の確保 講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	-	55	%	平成24年度に行った 外国語講座(英語) は、募集定員15名に 対し53%の実績で あったため、8割程度 の定員充足率まで引 き上げる。	120	120	講師料120,000円	E	定員に対し、受講希望者が少なく、事 業の廃止の検討を行う。
④ 自分で装うはじめて の浴衣	市内在住、 在勤、在学 の方	●				15人定員に 対し、15人 が受講した。	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	67	100	%	申込者が少ない講座 であるので、8割程度 の定員充足率まで引 き上げる。	32	32	講師料32,000円	A	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の 求める生涯学習講座のニーズに合っ ているため、現行どおり実施していく。

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③ 外国語を学ぶ『韓国 語』	外国語・国際理解に関する講座については、講師が企画・運営を行う『ながくて・学び・アイ講座』にて、応募があった場合、審査によって開講を決定する。		

事業番号	46	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	生涯学習課					
基本方針	(4)文化をみがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な学習の支援	フラッグ	フラッグ項目					
事業の概要	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始め始めるきっかけになることを意図しています。 また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。今年度は旧街道探訪講座2講座、パソコン講座2講座、俳句講座1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施						
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の18歳以上の方(ただし、一定期日までに募集定員に満たなければ市外の方も可)					うち	一般財源	1,186	1,143	500	533	167
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始め始めるきっかけになることを意図しています。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	459	675	432	368	69		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的		事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	評価の説明		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)			H25実績	H26実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算			H26決算の主な内訳(単位:千円)	
										H26予算	H26決算				
⑤ 茶道入門講座	市内在住、在勤、在学の方	4月~ 7月~ 10月~ 1月~	生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	15人定員に対し、17人が受講した。	講座申込者数÷募集定員の割合(講座申込者数/募集定員)	87	113	%	申込者の多い講座であるので、募集定員の充足を目標とする。	60	60	60	60	A	人気講座で住民からの要望も多く、募集人員も確保していることから、市民の求める生涯学習講座のニーズに合っている。ただし、文化協会と協働で毎月開催している茶会と事業統合する。
⑥ 市内史跡めぐり講座	市内在住、在勤、在学の方	4月~ 7月~ 10月~ 1月~	生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	20人定員に対し、16人が受講した。	講座申込者数÷募集定員の割合(講座申込者数/募集定員)	95	80	%	申込者の多い講座であるので、募集定員の充足を目標とする。	15	15	15	15	A	人気講座で住民からの要望も多く、募集人員も確保していることから、市民の求める生涯学習講座のニーズに合っているため、現行どおり実施していく。
⑦															
⑧															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	⑤	茶道入門講座		